

令和5年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究費テーマ一覧

No	資格	氏名	研究テーマ
1	教授	小滝一彦	①グローバルな二拠点生活が人口分布や産業分布に及ぼす影響について ②企業の人材ニーズと大学生の「社会人基礎力」について
2	教授	渡邊修士	住宅ローン借入の決定要因とそれが消費におよぼす長期的影響に関する研究
3	教授	坂野徹	科学の歴史の総合的研究
4	教授	根村直美	ポストヒューマン・エシックスと「自己の技法」
5	専任講師	平木貴子	睡眠・運動習慣に関するチェックリストの記録が都市型キャンパスに通学する大学生の睡眠状況改善および運動習慣獲得行動に与える影響
6	教授	秋山孝信	英語の自由間接話法における時制について
7	教授	卜部勝彦	地図の得手・不得手と地理教育での系統的地図指導に関する研究
8	教授	小笠原祐子	日本のジェンダー構造の特徴に関する考察—国際比較の観点から
9	教授	奥田智	公立学校における実施可能な主権者教育プログラムの開発及び検証 —小学校・中学校・高校における主権者教育の連続性に着目して—
10	教授	篠ヶ谷圭太	自己調整スキルの獲得につながる習得サイクルの解明および介入方法の検討
11	教授	鈴木基子	米国における中国語教育
12	教授	武廣亮平	古代出雲国の氏族とヤマト王権
13	教授	田村真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
14	教授	徳永志織	語彙構造から統語構造へ:教育のためのスペイン語文法再考
15	教授	村岡哲郎	複数肢運動制御における認知の役割についての文献レビュー
16	教授	安田静	劇場の現在
17	教授	藪越知子	EFL学習環境における自己調整学習—英語習熟度との関係
18	教授	山岸郁子	大衆文学の研究 1950-70年代を中心として
19	教授	リチャード・パウエル	多言語法と言語権の間の理論的及び実際的關係: 翻訳と言語簡素化の間の選択を探る
20	准教授	生亀清貴	リスク資産データを用いた多元分割表のモデル提案及びその応用
21	准教授	位田将司	1910-30年代における日本文学と新カント派哲学との関係をめぐる理論的及び実証的研究
22	准教授	岡島慶	アメリカ文学研究と英語教育の接続の可能性
23	准教授	岡本奈穂子	ドイツ、ドレスデン市における移民・難民の社会統合(特に難民のドイツ語習得)に関する現状と課題

No	資格	氏名	研究テーマ
24	准教授	笠貫葉子	認知言語学的視点からの比喩研究
25	准教授	加藤嘉津枝	①日本人EFL学習者における中学・高校英語の定着度について ②日本人EFL大学生の英文多読—その学習効果について
26	准教授	久井田直之	非認知能力の育成を可能にする英語教材と英語教授法についての研究
27	准教授	杉藤久志	チョーサーとヨーロッパの夢
28	准教授	高草木邦人	近現代ルーマニアにおける議会政治と記憶
29	准教授	バターフィールド・ジェフリー・リー	言語の起源、進化とこれから
30	准教授	ハッチンソン・キャロライン	英語教育
31	准教授	林直樹	日本語・日本語社会の多角的分析
32	専任講師	桑山啓子	‘Brute, or the Chronicle of England’ における準動詞の一考察
33	専任講師	越澤亮	移動ターゲットの[到達位置]と[到達時間]を同時に予測している時における視線活動と脳活動様式—放物線移動するターゲットを用いての検討—
34	専任講師	佐藤温	幕末社会における文人の諸相についての研究
35	専任講師	田中圭	わが国におけるスマート農業の導入および活用に関する研究
36	専任講師	田中菜採	レベル別速読教材の作成基準の実用性の検証
37	専任講師	戸塚英臣	マルチフラクタル解析を用いたリスク資産の実証分析
38	専任講師	山口真紀	経済・商学系学部留学生を取り巻く学習環境要因の調査とそれに基づく日本語学習支援